



絵封筒前巻 1917年

春 (「婦人クラフ」表紙) 1926年

夢二が描いた ときめく 花と暮らし

竹久夢二美術館

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-2
Tel 03(5689)0462
<https://www.yayoi-yumeji-museum.jp>

開館時間

午前10時～午後5時 (最終入館午後4時半まで)

休館日 月曜日

※1月9日(月・祝)開館、1月10日(火)休館

※新型コロナウイルスの影響により、休館日、開館時間が変更になる場合があります。

入館料

一般1000円/大・高生900円/中・小生500円

※弥生美術館も併せてご覧頂けます。

日本では古くから、四季折々の花が生活に喜びや潤いを与え、芸術作品の主題として扱われてきました。画家・詩人として活躍した竹久夢二(1884-1934)も、暮らしの中の花から着想を得て、絵画やデザイン、詩歌などにおいて幅広く表現しました。夢二が描いた花は可憐な姿で鑑賞者を癒してくれました。さらに自身の心情と花の印象が結びついて生まれた詩は、時には香りや触感までも思い出させ、花にまつわる記憶を呼び起こしてくれます。また図案化された花は日用品を装飾して暮らしを彩り、その洗練されたデザインは現代でも高い評価を得ています。

本展では、花をテーマにした夢二作品に加え、明治後期～昭和初期の雑誌より、花を楽しむ文化を展示紹介します。



セノオ楽譜「言はれぬ嘆き」1920年

2023.1.6 Fri » 3.26 Sun

「光ちゃん」表紙 1913年



満面の笑 (「女学生」表紙) 1923年

担当学芸員による
ギャラリートーク
2023年
1月21日(土)
2月11日(祝・土)
3月18日(土)
いずれも14時～

セノオ楽譜「我が恋は縁なり」1923年



セノオ楽譜「我が恋は縁なり」1923年

